

とも（共・友）にいきる（生・活）

生徒 第3学年18名 第4学年16名 計34名
授業者 加古谷 孫一郎 竹田 成志
場所 3・4年教室

1 単元設定の理由

【単元の目標】

- 福富町の自然環境について調べ、活動してきたことと「里山」というキーワードは関わりが深いことを知る。その「里山」づくりの中にある、「森林」「田畑」「生き物」に関わる地域の方々の思いに触れたり、一緒に活動したりすることで、自分たちが地域のためにできることがあることに気づき、その過程で考えたことや感じたことを、表現することができる。

【児童の実態】

- 第3・4学年の児童は、植物や昆虫を観察したり育てたりする中で、生き物を大切にしたいという思いをもっている。また、自分たちが住んでいる地域のことを知る中で、人と人との関わりや自分たちの町を大切にしたいという思いをもっている。しかし、生き物や自分たちの町を大切にしたいという思いをもつ児童は多くいるものの、自分たちにできることを実現していくために、計画を立てたり、そのためにどのように情報を収集したらよいかを考えたりする児童は多くはない。

【単元観】

- 福富町は、人口の減少や高齢化など、過疎地域における典型的な社会問題を抱えており、人員不足のため地域の自然を保つことが難しくなっている。本単元では、そのような状況下でも、「森林」や「田畑」「生き物」に関わる地域の方々が福富のよきを守り、次の世代に伝え残そうとしているなど、地域の人々の思いに触れることで、自分たちと地域とのつながりについて学ぶことができる。地域の方々とともに「里山」づくりに関わることで、自分たちの生活と自然とのつながりに気づき、自分たちの住む町の課題に対して、主体的に学習に取り組む態度を養いたい。

【指導にあたって】

- 「里山」に焦点を当てた展開

第一次では、昨年度の総合的な学習の時間に行ってきた活動について、4年生が3年生に報告をすることで、総合的な学習の時間がどのような時間なのかを3年生に理解させる。そこから、福富町の自然を守るために取り組むことと、「里山」というキーワードとの関わりが深いことを確認し、地域や地域の自然に関心をもつことができるようにする。第二次では、自分たちにできることは何かを考えさせ、計画・実行する過程の中で、課題解決に向けて、学習活動カードを活用し自分たちの課題に対して適切な情報収集の方法を選択できるようにしたい。さらに、他地域の取組を参考にするとともに、地域の自然を保全している人たちを手掛かりに、生き物や自分たちの町を大切にしたいという児童の思いを具現化させ、発信するという第三次の表現活動へとつなげていきたい。

- 異学年でのグループ探究

調べたい事柄のイメージを広げながら、テーマごとの縦割りグループに分かれる。自らが調べ追究したテーマをもつことで、より主体的に探究活動に取り組めるのではないかと考える。また、思考ツールを活用し、それぞれがワークシートに整理したものを、グループのJamboardに整理することを異学年グループで行うことで、4年生はリーダーとしての役割を担う機会となり、3年生は4年生を手本に、グループで活動する際の上級生の役割を知ることができると思う。

2 単元構想ストーリー

【とも（共・友）にいきる（生・活） 単元ストーリー】 福富小学校第3・4学年

3 年 生	4 年 生	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ
<p>○総合的な学習の時間がどのような時間なのかを理解する。</p> <p>○昨年度の学習の成果と課題をもとに、自分たちの活動（しようとしていたことを含む）は、「里山」というキーワードと関わりが深いことを確認する。福富町の自然を守り、豊かにするために、どのようなことに取り組むかを考える。</p> <p>○「里山」という大きなテーマの中に、「森林」「田畑」「生き物」という小さなテーマを定め、どんな活動（体験や調査）を行いたいかをもちにグループを編成する。目的と活動とのつながりを明確にしながら学習の計画を立てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">森林</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">田畑</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">生き物</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">各 グ ル ー プ で の 活 動</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">体験</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">調査</div> </div> <p>○行った活動について誰に報告，紹介したいかを考える。それらを踏まえて学習発表会において学習の報告，紹介を行い，保護者に伝える。</p> <p>○今年度の学習を振り返り，来年度の3年生に伝える成果と課題についてまとめ，発表の準備をする。</p>	<p>○昨年度の学習を振り返り，3年生に伝える成果と課題についてまとめ，発表の準備をする。</p>	<p><資料> 4年生作成の報告用スライド</p> <p><地域との連携> きこりや 賀茂地方森林組合 福富支所 竹仁地域センター 久芳地域センター すいすい倶楽部 広島大学 中坪教授 しゃくなげ館 NPO ひがしひろしま 社会福祉協議会 など</p>	<p>○昨年度の成果と課題について，3年生に分かりやすいようまとめよう。</p> <p>○森を手入れすることは自然を守ることに繋がっている。</p> <p>○自然や動物とともに生きるためにどんなことができるかな。</p> <p>○自分たちの行いたい活動は，どのテーマに当てはまるかな。</p> <p>○活動を行うために地域の人に手伝ってもらいたい。</p> <p>○実際に活動しただけではなく，続けることが大切なのか。どうすれば続けられるかな。</p> <p>○福富に住む人たちみんな，これからも福富の自然を守っていききたいな。【地域】</p> <p>○活動を通して，これからの生活にも役立てよう。【生き方】</p> <p>○福富の自然を守るための活動を続けるために，学習したことを整理しておこう。</p>



めざす児童像
福富町で自分の持ち味を生かした仕事や活動をしている人と出会い，その人たちの思いや考えを知ること，福富の地域の人達に誇りをもつことができる児童

3 単元の評価観点・評価規準

評価の観点		評価規準	
		A	B
知識 技能	① 知識	○福富の自然を守ることと里山づくりの間に関わりがあることを <u>具体的な例とともに理解</u> している。	○福富の自然を守ることと里山づくりの間に関わりがあることを理解している。
	② 技能	○里山づくりで自分たちにできることについて、 <u>多様な方法</u> で情報を収集している。	○里山づくりで自分たちにできることについて、情報を収集している。
	③ 探究的な学習のよさの理解	○里山づくりの活動を進める中で、 <u>試行錯誤したう</u> えで探究的な力が付いたと感じている。	○里山づくりの活動を通して、探究的な力が付いたと感じている。
思考 判断 表現	① 課題の設定	○里山づくりにおいて、 <u>自分たちのやりたいことを実現するための課題</u> を見付け出している。	○里山づくりにおいて、課題を見付け出している。
	② 情報の収集	○里山づくりについて、課題を解決するために <u>必要な情報</u> を収集することができる。	○里山づくりについて、課題を解決するための情報を収集することができる。
	③ 整理・分析	○里山づくりにおいて自分たちのやりたいことについての課題に対して、集めた情報をもとに、何が <u>できるか</u> を比較して考えている。	○里山づくりにおいて自分たちのやりたいことについての課題に対して、集めた情報をもとに考えている。
	④ まとめ・表現	○里山づくりの活動の中で考えたことや感じたことを、 <u>分かりやすく</u> まとめている。	○里山づくりの活動の中で考えたことや感じたことをまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	① 自己理解・他者理解	○友達の考えを受け入れ、 <u>それぞれの考えのよさを生かし</u> ながら探究的な活動に取り組もうとしている。	○友達の考えを受け入れながら探究的な活動に取り組もうとしている。
	② 主体性	○課題の解決に向けて、目的をもって <u>計画的に</u> 学習に取り組もうとしている。	○課題の解決に向けて、目的をもって学習に取り組もうとしている。
	③ 協働性	○他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、 <u>自分の意見を見直し</u> ながら取り組もうとしている。	○他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、共感しようとしている。
	④ 将来展望・社会参画	○福富町の自然を守るために、 <u>自分に</u> できることは何かを考えることができる。	○福富町の自然を守るために、できることは何かを考えることができる。

4 単元計画【地域探究学習のみ（全40時間）】

小単元 (時数)	小単元の目標と主な学習内容 ◎ねらい ○学習内容	評価の観点 (評価方法)	教科・特別活動 等との関連
1 課題設定の準備 (2時間) ※4年生のみ	<p>◎昨年度の成果と課題を3年生に伝えて、総合的な学習の時間がどのような時間なのかを確認しよう。</p> <p>○昨年度の学習について、成果や課題を振り返る。</p> <p>○自分たちが本当にしたいこと、目標とすることを考え、3年生に伝える準備をする。</p>		
2 導入・課題設定 (5時間)	<p>◎自分たちがしてみたいことや自分たちにできることを考えることができる。 ～目指せ福富「里山」づくり～</p> <p>○昨年度の活動内容を知り、総合的な学習の時間がどのような時間なのかを理解する。</p> <p>○4年生が昨年度してきたことは、「里山」というキーワードと関わりが深いことを確認する。</p> <p>○「森林」「田畑」「生き物」というテーマに向かって、取り組みたいことを考え、それらを実現するために必要なこと、疑問に思ったことや不思議に思ったことを出し合う。</p>	<p>知①（ワークシート）</p> <p>主②（発表・行動観察）</p> <p>思①・主①（ワークシート・Jambord）</p>	<p>〈3年理科〉 生き物を調べよう 植物を育てよう 〈4年理科〉 季節と生き物</p>
3 情報収集 整理・分析 (20時間)	<p>◎自分たちの思いや考えを実現するために必要な情報を、どのように収集するかを考え、実際に集めることができる。</p> <p>○「体験」か「調査」か、自分たちの思いや考えを実現する方法がどちらなのかを明確にし、計画を立てる。</p> <p>○活動を進めるために必要な情報をもっている地域の人を探す。</p> <p>○計画をもとに、活動を実行する。</p> <p>○実行した活動について、自然を守ることとのつながりを意識しながら振り返る。</p>	<p>思②（ワークシート・Jambord）</p> <p>思③・主②（ワークシート・行動観察）</p> <p>知②（行動観察）</p>	<p>〈3年社会〉 はたらく人とわたしたちの暮らし 〈4年社会〉 特色ある地域と人々の暮らし 〈3年道徳〉 「ヌチヌグスージ(いのちのまつり)」 D 生命の尊さ</p>

<p>4 まとめ・つなぐ (12時間)</p>	<p>◎自分たちが取り組んできたことや、活動を通して感じた思いや願いを、だれに、どのようにして伝えるかを考えることができる。</p> <p>○表現する方法について出し合う。 ○伝えたいことを整理する。</p> <p>○より良い表現方法を考える。(本時 3 / 12)</p> <p>○自分たちが取り組んできたことや、活動を通して感じた思いや願いを、関わった人に対して学びの成果として伝える。 ○次年度の3年生に向けて成果と課題をまとめる。</p>	<p>主③(行動観察・振り返り) 知③(発表)</p>	<p>〈3年国語〉 心が動いたことを詩で表そう 〈4年国語〉 みんなで新聞を作ろう</p>
<p>5 振り返り (1時間)</p>	<p>◎活動を振り返ったり、自分の生き方を見つめ直したりすることができる。</p> <p>○活動を通して感じた思いや願いをもとに、自分の生き方を考えたり、見直したりする。</p>	<p>思④・主④(行動観察・振り返り)</p>	<p>〈4年道徳〉 「『ふれあいの森』で」 D 自然愛護</p>

5 本時の目標

自分たちが見付けた表現方法と発表の内容との関係について整理・分析することができる。

6 本時のルーブリック

A	B
<p>☆他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、<u>そのよさを認め、自分の意見を見直しながら取り組もうとしている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの□□という表現方法を私の考える発表内容と掛け合わせたらいいと思う。 ・〇〇さんと△△さんの意見だと〇〇さんの意見の方が多くの人に向けて発信できるよ。 ・△△さんと私の考えは違ったけれど、△△さんの□□という意見がいいなと思った。 	<p>☆他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、<u>そのよさを認め、共感しようとしている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの見方は自分の見方と少し違っている。 ・△△さんは〇〇だからこの表現内容がいいと思ったんじゃないかな。 ・私の考えは□□の意見に似ている。 ・〇〇の表現方法がいいと思う。 ・〇〇さんの考えが相手に伝わると思う。

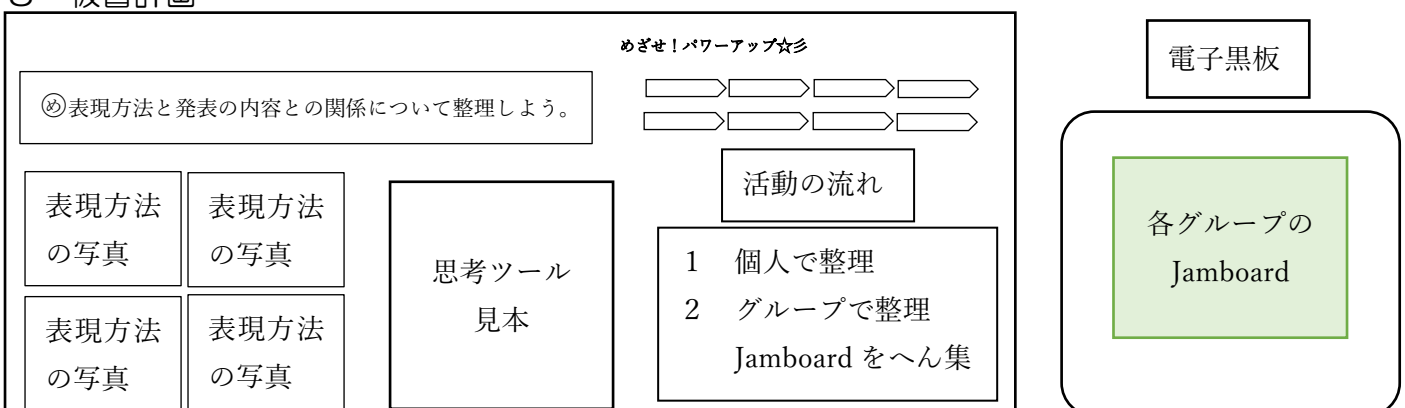
7 学習の流れ

学習活動と予想される児童・生徒の反応 主な発問 (○)	指導上の留意事項 (◇) 評価基準 (☆) ◆努力を要する状況と判断した児童・生徒への指導と手立て
<p>1 児童の振り返りをもとに、表現方法について前時までに収集したものと、自分たちの伝えたいことについて整理したものを確認し、共有する。</p> <p>○どんな表現方法があったかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌や合唱 ・詩の朗読 ・劇 ・ポスター <p>○伝えたいことはどんなことかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが取り組んできて気付いたことや分かったこと。 ・活動をしていく中で感じたことや思ったこと。 <p>「自分たちが取り組んだこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に作ったものを見せたい。 ・活動してきたことを報告したい。 <p>「活動を通して感じたこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教えてくださった地域の方に感謝したい。 ・命の大切さに気付いた。 ・自然をもっと大切にしたい。 <p>2 本時の課題について確認する。</p>	<p>◇前時までに選んだ表現方法の例として、児童が見付けた動画や写真等の資料を全体で共有することで、表現方法そのもののイメージをもつことができるようにする。</p> <p>◆伝えたいことが漠然としている児童やグループには、具体例を示すことで、自分たちが考えていることは「自分たちが取り組んだこと」と「活動を通して感じたこと」のどちらなのかを整理しやすくする。</p>

表現方法と発表の内容との関係について整理しよう。

<p>3 整理する観点を確認し、整理する。(個人)</p> <p>○見たり聞いたりしている人に、伝えたいことがより伝わる方法はどれだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を詩に表すのは難しそうだ。 ・思ったことは詩に表すとよさそうだ。 ・感じたことをイラストで表したら分かりやすいかな。 ・歌や合唱はたくさんの人に向けて発表するほうがよさそうだ。 <p>4 個人で整理したことをグループで共有し、整理・分析する。</p> <p>○「自分たちが取り組んだこと」と「活動を通して感じたこと」が、見ている人により伝わる表現方法はどれだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇くんの見方は自分の見方と少し違うな。 ・〇〇さんの見方はわたしと同じだ。 <p>5 次の見通しをもつ。</p> <p>○次の時間にすべきことは何だろう。(以下は表現方法による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現する方法を決める。 ・発表の流れを考える。 ・整理したことをもとにして詩に表す。 ・整理したことをもとにしてデザインを考える。 ・整理したことをもとにして、台詞を考える。 <p>6 本時のまとめや振り返りをする。</p>	<p>◇考えを視覚的に分かりやすくするため思考ツール【マトリックス】を活用しながら活動することができるようにする。</p> <p>◇見る側の視点に立たせることで、自分たちがしたい表し方を考えるのではなく、より伝わる表し方はどれかを考えることができるようにする。</p> <p>◇グループに分かれて整理・分析することで、共通点や相違点に気付くことができるようにする。</p> <p>☆他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、共感することができる。 (主③行動観察・振り返り)</p> <p>◇本時の振り返りを行うことで、今後の活動への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>◇振り返りを行う際に、資質・能力(めざせ!パワーアップ)について意識させることで、児童一人一人がどのような力を身に付けたかを実感することができるようにする。</p>
---	---

8 板書計画



とも（共・友）にいきる（生・活）

～単元における目指す児童像～

福富町で自分のもち味を生かした仕事や活動をしている人と出会い、その人たちの思いや考えを知ること、福富の地域に誇りをもち、自分の夢について考えることができる児童

このような児童の姿を達成するために、以下のような工夫を行った。

主体性を育成する工夫

・学習活動の選択肢の拡張

今年度は、昨年度に行ってきた福富町の自然を守るための取組と、「里山」というキーワードとの関わりの深さを確認することから学習をスタートさせた。自分たちの町や、町の自然に対する思いの強さはあっても、それをどのように実現していくかを具体化することが難しい児童にとって、「里山」についての資料をもとに考えたことで、取り組みたいことを考える際の選択肢が増え、児童が本当にしたいことを選択することができた。



「里山」についての資料をもとに取り組みたいことを考える児童の姿

・主体的に学習を進める工夫

授業の開始時に、めあてや取り組むことをグループで話し合させた。自分たちのしたいことを実現させるために、どのようなことが必要なかをグループ内で共有する時間を設けることで、友達の意見を聞く機会が増え、友達の考えを受け入れる児童の姿が見られた。また、活動の仕方や方法、活動場所等をいくつかの中から選ばせた。グループ内での役割分担を行ったり、図書館や屋外での活動を自ら選んだりすることで、課題の解決に向けて、目的をもって学習に取り組もうとしている姿が見られた。



図書館を活動場所として選択し学習するグループ(図書を活用)

・地域人材の活用

児童は、福富町で林業を営む方や、水生生物の保護活動を行う方、福富町の自然をフィールドとし研究をされている方など、自分のもち味を生かした仕事や活動をしている方とともに活動を行った。知識や技術の習得に限らず、疑問に思ったことを質問するなど、課題の解決に向けて、目的をもって学習に取り組んだ。



地域の方の協力のもと活動する児童の姿(ハウスづくり)

協働性を育成する工夫

・意見交流ができる場の設定

自分たちが取り組んできたことや、活動を通して感じた思いや願いを、どのようにして伝えるかを考える際には、グループ内で意見交流をしながら取り組んだ。自分の意見をもつことの必要性に気付く児童、自分の意見をうまく伝える方法を考える児童、みんなの意見を引き出すために働きかける児童、意見交流の場でどのように折り合いをつけるべきかを考える児童といったように、友達の意見に共感しながら活動する姿が見られた。

成果と課題

○児童アンケートでは、「地域の方から聞いたことを生かしながら、学習を進めることができる。」の項目で、肯定的評価が80.6%（6月）から89.3%（12月）へと上昇した。これは、導入時に、学習活動の選択肢の拡張をしたことで、主体性が向上したからであると考えられる。さらに、児童の疑問を解決するために、自らが解決する手段として地域の方に依頼をしたり、活動を進めたりしたからであると考えられる。

○児童アンケートでは、「福富町のことが好きである。」の項目において、6月も12月も肯定的評価が96%と高い水準を保っている。これに加えて、「福富町について、知りたい・学びたいと思う。」の項目において、肯定的評価が83.9%（6月）から89.3%（12月）へと上昇した。実際に地域に出て活動することでどのように課題を解決していくかが児童の中で具体化され、児童の興味や関心がさらに高まったのではないかと考える。

●「福富町の良さやみりよく、かだいなどについて知っている。」の項目において、肯定的評価が80.6%（6月）から78.6%（12月）と低下した。これは、自分たちの取組と福富町の課題との関係を理解して活動を始めたが、活動をしていく中で、その関係へ着目する機会が減ったことが原因であると考えられる。例えば、動物と人間の生活の場の境界があいまいになった理由の一つとして、荒れた土地が増えたことが挙げられる。そこに着目し、耕作放棄地をイメージした学級園で始めた取組である野菜作りも、気付けば、児童たちの中では、育てた野菜を地域の方に配ることが目的となっていた。児童にあらためて「なぜこの取組をしているのか。」と問い掛けたり、児童が積み重ねてきた思考を可視化して残したりすることで、自分たちの取組と福富町のよさや課題との関係を理解できるようにすることが必要である。

●「総合的な学習の時間で学んだことやついた力は、これから役に立つと思う。」の項目において、肯定的評価が78.6%（12月）であった。これは、目指す資質・能力を可視化し児童に示しているものの、児童自身はその具体的な姿をイメージすることができていないからであると考えられる。目指す姿が見られた具体的な場面で児童に声掛けをしたり、資質・能力に関する児童の振り返りを紹介したりして、児童が目指す姿について、全体で共有することが必要である。